

陥入爪の治療

陥入爪とは

(かんにゅうそう)

爪が皮膚に食い込むことを『陥入爪』と言います。

『陥入爪』が起きやすいのは、圧倒的に足の親指です。もともと巻き爪があるケースはもちろんですが、それ以外にも、深爪したことがきっかけとなるケースがあります。

意外に知られていませんが、爪は「角切り」に近い形に切つて、爪の角が皮膚よりも前に出ていることが理想的です。しかし、痛みを訴えて受診される患者さんの過半数は、爪の角を深く

皮膚科医師 高木真知子



切り込んでいます。

切り込まれて皮膚

に埋もれた爪は、

荷重時にさらに食

い込んで

痛みを生じます。周囲の皮

膚は赤く腫れ、ひどい時には、出血しやすいじくじく

した「お肉」へと表現してお

きます(が盛り上がって爪に

覆い被さりませす。

このような症例は、消毒

切ります。

切り込ま

れて皮膚

に埋もれ

た爪は、

荷重時に

さらに食

い込んで

痛みを生じます。周囲の皮

膚は赤く腫れ、ひどい時に

は、出血しやす

じくじくした「お肉」へと表現してお

きます(が盛り上がって爪に

覆い被さりませす。

このような症例は、消毒

やぬり薬、抗生剤内服だけ

では、何ヶ月治療しても治

りませす。皮膚に爪が食い

込むことを解決する必要が

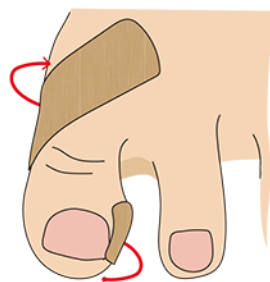
あります。

陥入爪の治療

簡単に行える方法として、皮膚を爪から遠ざける

陥入爪の治療

簡単に行える方法として、皮膚を爪から遠ざけるようにテープで引っ張るという手段があります(図参照)。



これを数週間続けるだけ

でも、ある程度の症例は治ります。食い込みが強い場合には、当たっている爪を切除することもあります。

これらの処置で炎症が鎮

静化した後も、特に深爪になつている場合には治療終了とはいきませす。埋もれた爪が伸びるとともに、再び皮膚に食い込む恐れがあります。そこで、爪が良い長さになるまでは、テープ法

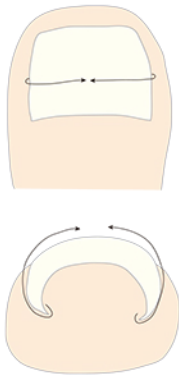
を続けます。

巻き爪の場合、

巻き爪の患者さんの痛み対策としては、爪を開く『矯正』も選択肢となります。

当院では、『VHO式巻き爪矯正法』を行つています。

爪の左右にそれぞれワイヤーをかけて、爪の真ん中でこれらを引き寄せ、固定します(図参照)。



爪の先端に装具をつけるだけの矯正と比べ、より基部から爪を開くことができます。初回の装着後から、痛みは改善することがほとんどです。2ヶ月おきにワイヤーをかけ直して、およそ